



kanto 145

2021.6.19

外国語授業を考える： コロナ禍が浮き彫りにした学習支援の課題

日時・場所

期 日	2021年6月19日（土曜日）13:00～17:30		
会 場	オンライン（Zoom）		
時 程	13:00～	開会	
	13:15～13:45	研究発表	
	13:50～14:10	賛助会員発表	
	14:25～14:55	研究発表・実践報告	
	15:10～15:40	実践報告・ポスター発表	
	15:55～17:25	基調講演 講師：村上加代子先生	
	～17:30	閉会	
	閉会后	交流会	

※ 機器トラブルなどにより予定の時間に発表ができなかった場合は「発表予備枠」にて実施する場合があります。詳細はイベントスケジュールをご覧ください。

記

主 催 外国語教育メディア学会（LET）関東支部

基調講演

「見逃してませんか？ こういう学習者」

講師：村上 加代子 先生（甲南女子大学）

人と同じように努力をしてもなかなか上達しないことや、苦手なことはありませんか。音楽や体育などの分野では特に才能に恵まれた人が目立ちます。実は言語の領域でも生まれつき言語習得が得意になりやすい人と、そうではない人がいます。英語教師になる人の多くは前者でしょう。ですが学校教育には、後者のほうが多いことを踏まえておかねばなりません。学習する側の「しんどさ」に対する想像力を忘れないことはもちろん、なぜ英語習得につまずくのかの背景知識がなければ、「こんなことがなぜできないの？」「やらない方が悪い」といった無責任で冷たい言葉を学習者に浴びせてしまいかねません。

今回は、英語が得意になるためにはどのような認知的スキルが必要なのか、読み書きが苦手になりやすい学習障害（LD）のある子どもたちと英語学習、指導についてお話しします。多様性を受容する社会を教室から実現していきましょう。

「外国語授業を考える：コロナ禍が浮き彫りにした学習支援の課題」

開始	終了	Zoom 1	Zoom 2
13:00	13:10	開会の挨拶	
13:15～		司会 朝熊 悠（関東学院大学）	司会 奥 聡一郎（関東学院大学）
13:15	13:45	①研究発表 「日本人英語学習者の名詞句構造把握能力の発達過程：大学生を対象とした横断的調査の結果から」 田中 広宣（東京大学大学院生） ●2020 年度関東支部研究支援プログラム最終報告	②研究発表 Japanese university students' attitudes towards Global Englishes FUNADA, Natsuno（The University of Tokyo） ●2018 年度関東支部研究支援プログラム最終報告
13:50	14:10	賛助会員発表： 株式会社 成美堂／株式会社 三修社／チエル株式会社	
14:25	14:55	③研究発表 「オンライン英語科教育授業への交流距離理論の導入と効果の検証」 山内 豊（創価大学） 西川 恵（東海大学）	④実践報告 「オンラインでのスピーキング授業報告—AI による赤ペン添削を用いた音声指導の可能性」 田淵 龍二（ミント音声教育研究所）
15:10～		司会 朝熊 悠（関東学院大学）	司会 湯舟 英一（東洋大学）
15:10	15:40	⑤実践報告 「日本語学習者のディスカッション運営力を高める振り返りと効果の検証」 寺田 恵理（釜山大学，早稲田大学大学院生） ●2019 年度関東支部研究支援プログラム最終報告	⑥ポスター発表 「医歯学生のための基礎学年英語教育—ラポール形成に必要な語学力の育成に向けて—」 出野 由紀子（神奈川歯科大学） 坂本 洋子（獨協医科大学）

※ 15:55 以降 次頁につづく

開始	終了	Zoom 1	Zoom 2
15:55~		司会 入江 潤（一社・educore）	
15:55	17:25	基調講演 「見逃してませんか？ こういう学習者」 講師：村上 加代子（甲南女子大学）	
	~17:30	閉会の挨拶	
(17:45)	(18:15)	発表予備枠	
17:45 (18:20)	18:15 (18:50)	交流会	

参加賛助会員

13:50 から Zoom 1 において、賛助会員プレゼンが行われますので是非ご覧ください。

株式会社 成美堂

コロナ禍のオンライン授業で、大変好評いただきました教科書や e-Learning 教材をご紹介させていただいております。弊社のオンライン授業対応の教科書には、様々な教員向け資料や学習プラットフォームのご用意がございます。是非、見本をお申込み下さい。

詳しくはこちら>> <https://www.seibido.co.jp/>

株式会社 三修社

外国語の辞書、語学学習書、大学向け語学教科書等を中心に出版しております。ご検討のテキストのみならず、教材開発、教科書のデジタル化についても、何でもご相談下さい。

詳しくはこちら>> <https://www.sanshusha.co.jp/>

チエル株式会社

英語 4 技能学習に特化したクラウド型の MALL システム CaLabo ® MX 《キャラボエムエックス》BYOD に対応し、クラウド環境でペア会話も可能です。録音した音声ファイルの課題管理も簡単に行えるため、オンライン授業での併用も非常に有効です。

詳しくはこちら>> <https://www.chieru.co.jp/products/high-school/calabo-mx/>

CHieru

〒350-0248 埼玉県坂戸市けやき台 1-1
城西大学 語学教育センター内 (鬼頭和也)
電話： 049-271-7652
E-mail： kanto-office@j-let.org

会員・関係者各位

今回の支部研究大会も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から Zoom で開催いたします。ご講演やご発表を対面で伺えないのは残念ですが、会場への移動がありませんので、ご自宅から気軽にご参加いただけるかと存じます。他支部の皆さまも含め、多くの方々のご参加をお待ちしております。

さて、本大会では、テーマを「外国語授業を考える：コロナ禍が浮き彫りにした学習支援の課題」とし、基調講演では英語教育・英語指導法・特別支援教育（英語）がご専門の村上加代子先生からお話をいただきます。昨年度秋の支部研究大会挨拶として「オンラインであろうとなかろうと、教員・学習者ともに不安にならず、教員は学習者の学びを止めずに支援し続け、学習者は強い学習意欲を持って学び続けていける、さらにはその過程で温かい人間関係を築いていけるような教育を、初心に戻って考えることが重要」と書かせていただきました。この重要な点を深く掘り下げていくために、多様な学習者に対して必要な支援とは何をどのようにすることなのか、望ましい支援やその方法とは何なのか、という内容を、外国語授業という枠組みの中でお話いただきます。常に授業改善をしながらより良い授業を求めていらっしゃる皆さまにとって有意義な情報をいただけるのではないかと考えております。

閉会式後には、ブレイクアウトルームを利用した交流会を設定いたします。ご講演やご発表内容、今抱えている問題、その他、自由にお話いただける場になればありがたく存じます。ドリンク等を脇に置き、気軽にご参加ください。

それでは、皆さまとまた交流できることを楽しみにしております。

2021年6月

外国語教育メディア学会
関東支部長 下山 幸成